

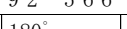
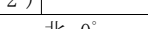
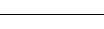
ボーリング柱状図

調 査 名 県道志賀島循環線土質調査委託

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1			調査位置	福岡市東区大字志賀島地内						北緯	33° 39' 47.107"		
発注機関	福岡市東区地域整備部地域整備課					調査期間	平成 23年 2月 18日 ~ 23年 2月 19日					東経	130° 17' 50.521"	
調査業者名	西日本地質防災株式会社 電話 (092-566-8022)			主任技師			現場代理人	丸目伸一	コ 鑑 定 者	丸目伸一	ボーリング責任者	永崎健太		
孔口標高	2.14m	角  度	方		地盤 勾配		使用機種	試錐機	YBM-05		ハンマー 落下用具	半自動落下		
総掘進長	7.00m		向	鉛直 90°	10°	エンジン	NF80		ポンプ	GP-3				

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験						原位試験		試料採取			室内試験(月日)	掘進				
											深度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	N 値 	深度 (m)	試験名 および結果 ()	深度 (m)	試験番号	採取方法						
												0 〵	10 〵	20 〵													
1					砂	淡黄灰			海浜砂。 細砂～中砂。 下部の10cmはφ10～20mmの礫が混入する。	2/18 1.20	1.15	1	1	2	4/30	4											
2	0.14	2.00	2.00		礫混じり砂	灰～緑～暗灰			2.35mまではφ10～20mmの礫を含む灰色の細～中砂。 2.35～2.50m間に細粒分を多く含む緑灰色の細～中砂を挟む。 2.50m以深はφ5～20mmの礫をやや多く含む暗灰色の中～粗砂となる。	2.15	3	5	1	9/30	9												
3	-0.56	0.70	2.70							2.45					3.15	2	4	5	11/30	11							
4	-2.16	1.60	4.30							3.45					4.15	6	7	8	21/30	21							
5					花崗岩・砂質土	茶褐			二次マサで、地山状を呈する。 所々にφ10mm程度の礫を混入する。	4.45	9	12	12	33/30	33												
6	-4.06	1.90	6.20							5.15					5.45												
7	-4.86	0.80	7.00							6.15	13	21	16/7	50/27	56												
8					花崗岩・軟岩	茶褐			風化が進行して、コアは指圧にて容易に潰れる程度の硬さである。	6.42																	
9										7.15	11	18	21	50/30	50												
										7.45																	

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があります、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。